

『公共交通等の利用状況と「美（うま）し国おこし・三重」の取組について』 に関するアンケートの実施結果報告

アンケートにご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

『公共交通等の利用状況と「美（うま）し国おこし・三重」の取組について』
に関するアンケートの実施結果を次のとおり報告します。

アンケート結果につきましては、今後の公共交通等及び「美（うま）し国おこし・三重」に係る施策の参考とさせていただきます。

なお、アンケートの設問や集計結果については、下のURLをご覧ください。

<http://www.e-kocho.pref.mie.jp/monitor/index.html?a=top;result&id=180>

アンケートの概要

1 アンケート実施期間

平成 26 年 12 月 5 日から平成 26 年 12 月 26 日まで

2 回答率等

対象者数 1,177 人

回答者 763 人

回答率 64.8%

3 回答者の属性

性別 【男性 410 人（53.7%）】 【女性 353 人（46.3%）】

年代別

	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代
人 数	75 人	153 人	181 人	174 人	150 人	30 人
割 合	9.8%	20.1%	23.7%	22.8%	19.7%	3.9%

地域別

	北勢	中勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
人 数	367 人	221 人	100 人	57 人	18 人
割 合	48.1%	29.0%	13.1%	7.5%	2.4%

* 北勢：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、桑名郡、員弁郡、三重郡

中勢：津市、松阪市、多気郡 伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡

伊賀：名張市、伊賀市

東紀州：尾鷲市、熊野市、北牟婁郡 南牟婁郡

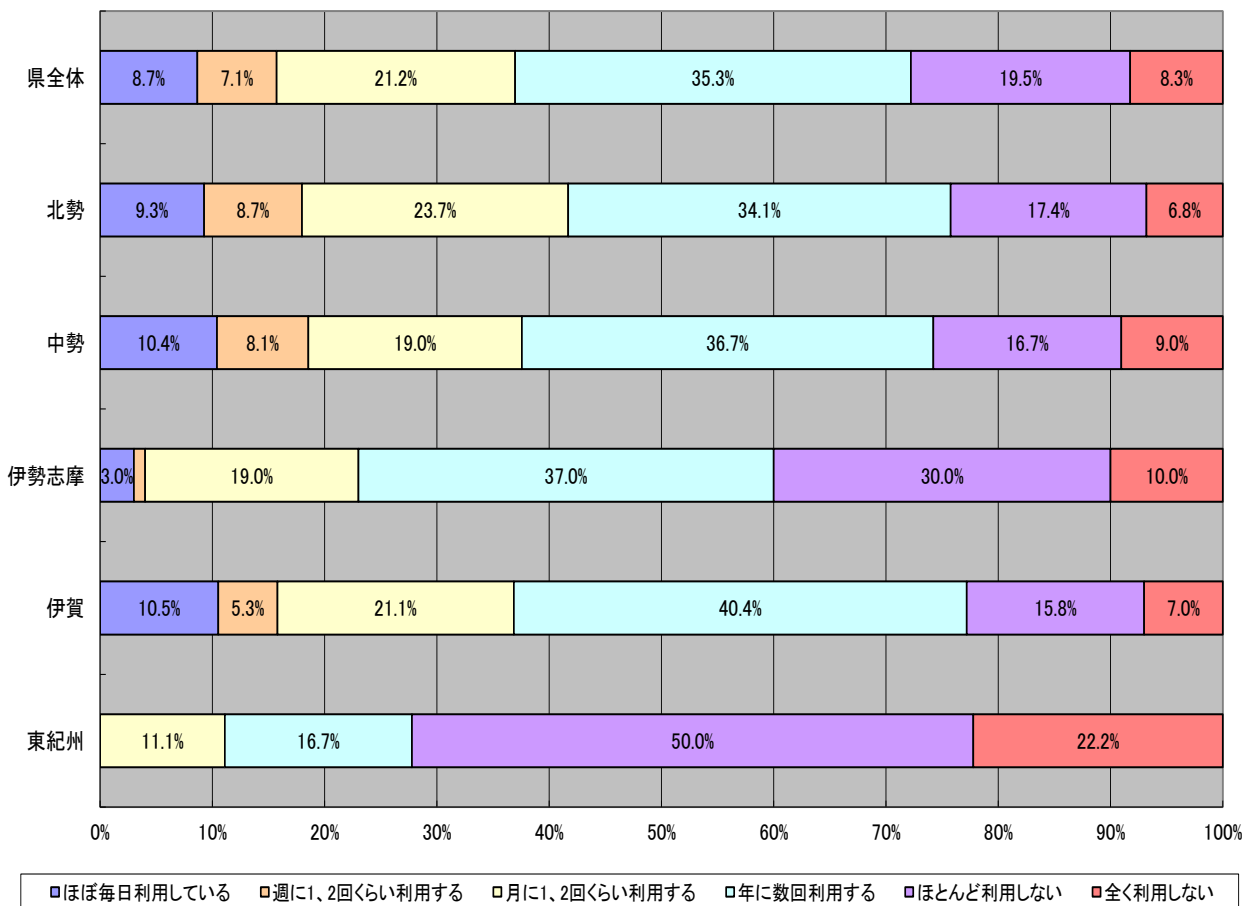
* 割合は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100%とはなりません。

アンケートの結果

Q1（公共交通機関の利用の有無）について

「ほぼ毎日利用している」が8.7%（66人）、「週に1、2回くらい利用する」が7.1%（54人）と、合わせて15.8%（120人）が公共交通機関を週1回以上利用されています。地域別では、北勢地域と中勢地域が県全体を上回っています。

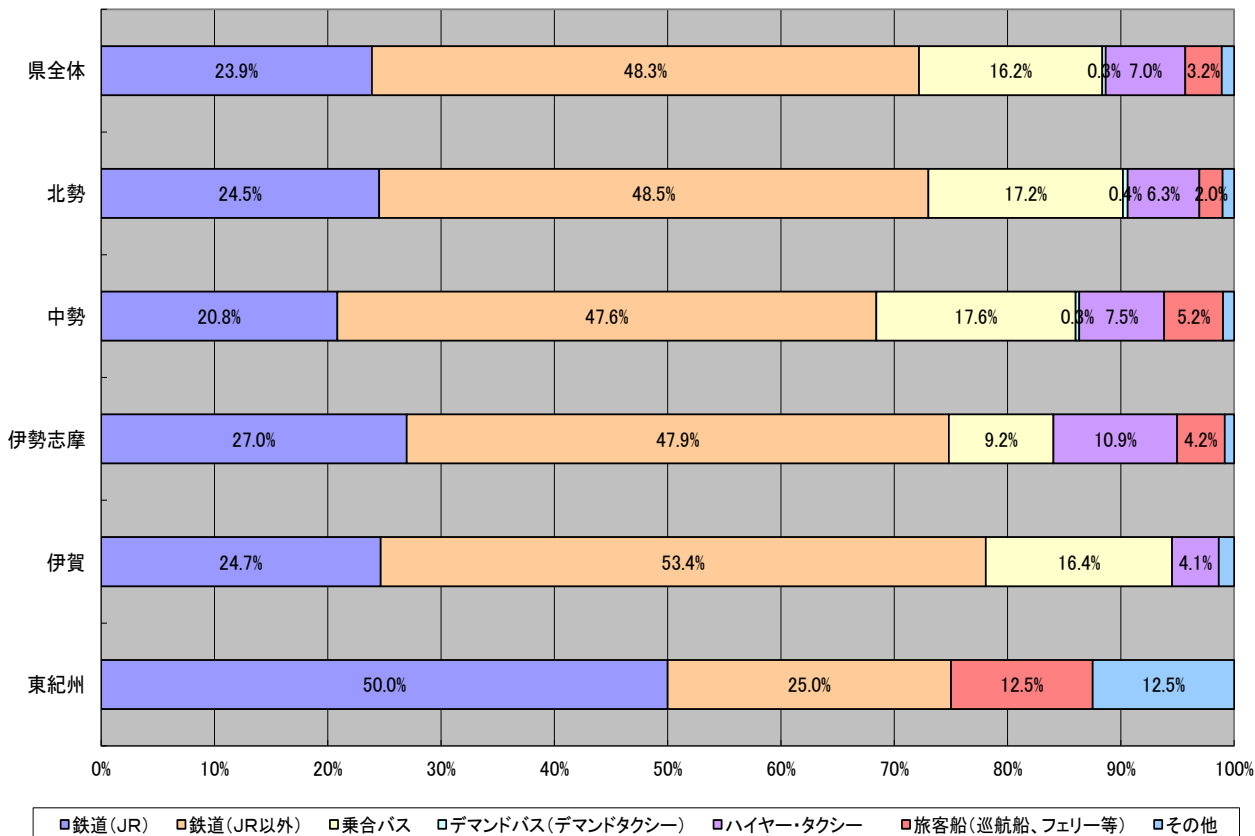
一方、「ほとんど利用しない」が19.5%（149人）、「全く利用しない」が8.3%（63人）と、合わせて27.8%（212人）の方は、ほとんど公共交通機関を利用されていません。全体的には公共交通機関を利用されない方の割合が多くなっています。地域別では、東紀州地域の割合が72.2%と他に比べ非常に大きくなっています。



Q 2 (利用している公共交通機関) について

「鉄道 (JR)」が 23.9% (238 人)、「鉄道 (JR以外)」が 48.3% (481 人) と、鉄道を利用している方が 7 割強を占めています。地域による差はあまりありませんが、伊賀地域が 78.1% で一番高くなっています。

次いで、「乗合バス」を利用している方が 16.2% (161 人) を占めておりますが、県南部での利用は低くなっています。



Q 3 (公共交通機関の利用目的) について

「旅行」が 26.4% (253 人) と一番多く、以下、「買い物」が 20.6% (198 人)、「趣味」17.0% (163 人)、「仕事 (通勤を除く)」14.2% (136 人)、「通勤」10.2% (98 人) と続いています。

なお、回答者が 20 歳以上のため、「通学」の割合が 0.5% (5 人) と非常に低くなっています。

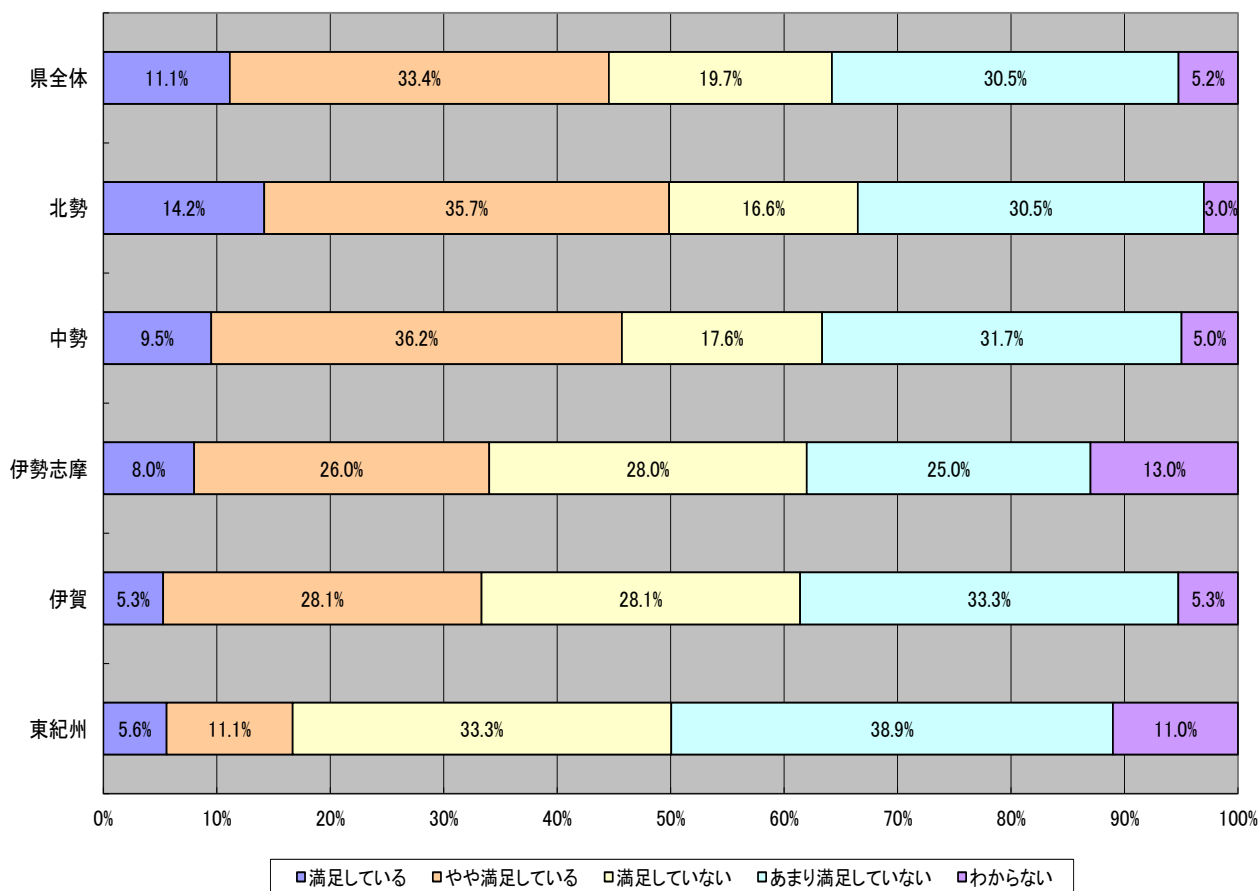
Q 4 (公共交通機関を利用しない理由) について

「自分(や家族)が自家用車を運転でき、自家用車を利用した方が便利だから」が 40.4% (180 人) と一番多く、以下、「自家用車と比較して移動に時間がかかるから」15.1% (67 人)、「自宅が駅やバス停等から遠いから」13.3% (59 人)、「運行本数が少ないから」11.9% (53 人) と続いています。

Q 5（公共交通機関の利便性の満足度）について

「満足している」が11.1%（85人）、「やや満足している」が33.4%（255人）と、合わせて44.5%（340人）の方が県内の交通機関の利便性に（やや）満足しています（参考：昨年度は43.0%）。地域別では、北勢地域が49.9%と一番高く、県南部へ行くほど低くなっています。

一方、「あまり満足していない」が30.5%（233人）、「満足していない」が19.7%（150人）と、合わせて約5割（50.2%、393人）の方が（あまり）満足していません。地域別では、東紀州地域が72.2%、伊賀地域が61.4%と他地域に比べ高くなっています。



Q 6（県外への外出の有無） Q 7（県外への交通手段）について

Q 6では、95.7%（730人）の方が県外へ「行った」と回答されており、この方々にQ 7で利用された交通機関についてお聞きしました。

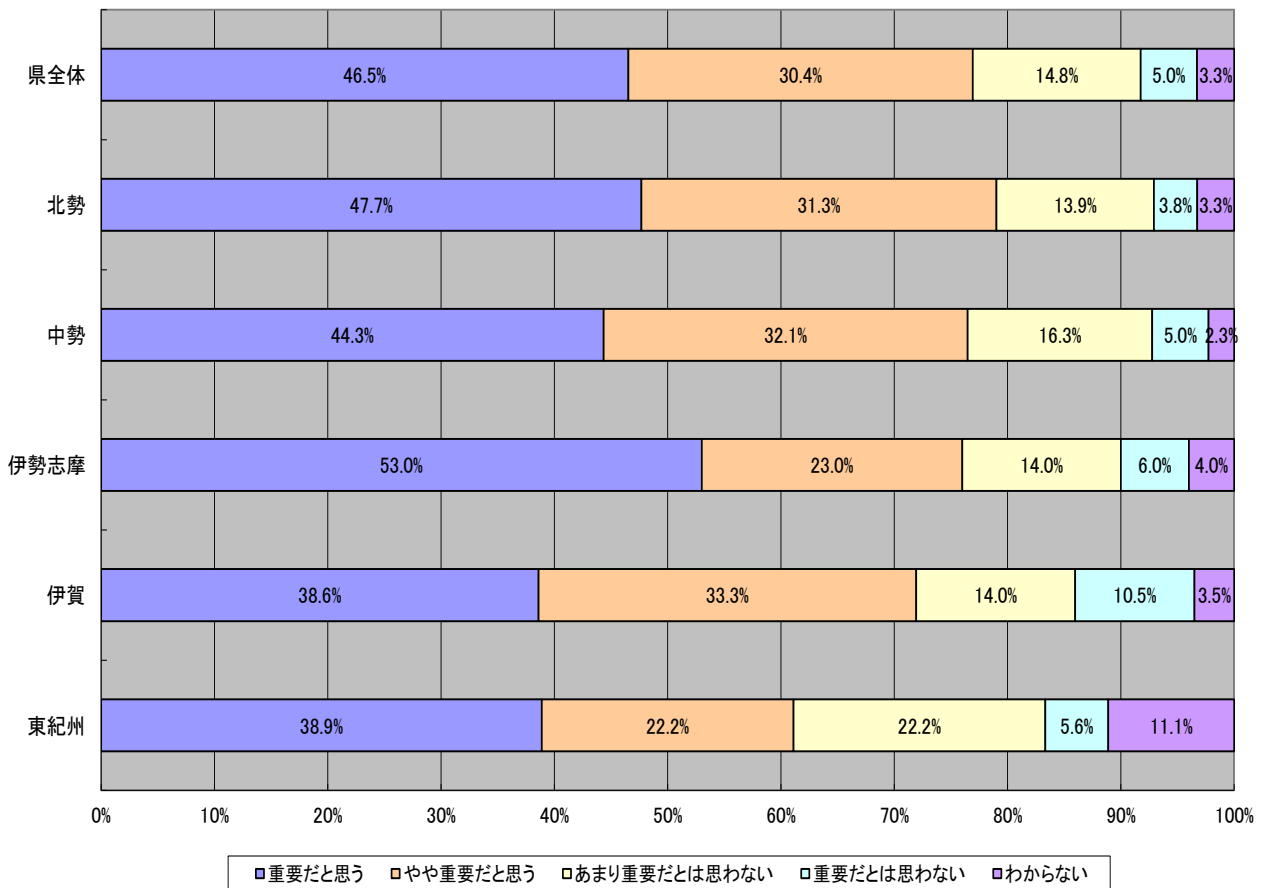
「自家用車（高速道路利用）」が30.2%（493人）、「自家用車（高速道路以外利用）」が10.6%（173人）と、合わせて40.8%（666人）の方が自家用車を利用されています。

また、「鉄道（JR）」が18.4%（301人）、「鉄道（JR以外）」が26.4%（431人）と、合わせて44.8%（732人）の方が鉄道を利用されています。

「乗合バス」は5.4%（89人）、「飛行機」は5.1%（84人）、「旅客船（巡航船、フェリー等）」は2.1%（35人）に留まっています。

Q 8 (広域・高速交通の重要認識度)

「重要だと思う」が 46.5% (355 人)、「やや重要だと思う」が 30.4% (232 人) と、合わせて 76.9% (587 人) の方が広域・高速交通ネットワークが (やや) 重要であると認識されています。



Q9 地域への愛着度

現在お住まいの地域に愛着をお持ちかどうかについて、「持っている」が 43.5%、「どちらかといえば持っている」が 38.1%と、合わせて8割を超える方（81.6%）が愛着を持っています。地域別では、北勢地域で 84.5%と最も高くなっていますが、他の地域も概ね8割程度となっています。

また、年代別では、50代で 85.6%、20代で 85.3%と 85%を超えており、次いで60代（83.3%）、30代（79.1%）、40代（77.9%）の順になっています。

Q9 地域への愛着度			
北勢	84.5%	20代	85.3%
中勢	79.6%	30代	79.1%
伊勢志摩	79.0%	40代	77.9%
伊賀	75.4%	50代	85.6%
東紀州	83.3%	60代	83.3%
		70以上	76.7%
全体	81.6%		

Q10 地域づくり活動への参加状況

地域づくりに参加している方（「現在、積極的に参加している」「現在、お付き合いで参加している」）は 48.2%でした。地域別では、伊賀地域（64.9%）と北勢地域（51.2%）で半数を超えており、伊勢志摩地域（46.0%）、中勢地域（42.1%）の順となっています。

また、年代別では、70才以上で 70.0%、60代で 62.7%と高く、次いで40代（50.8%）、50代（50.6%）、30代（38.6%）の順になっています。

Q10 地域づくり活動への参加状況			
北勢	51.2%	20代	18.7%
中勢	42.1%	30代	38.6%
伊勢志摩	46.0%	40代	50.8%
伊賀	64.9%	50代	50.6%
東紀州	22.2%	60代	62.7%
		70以上	70.0%
全体	48.2%		

Q11 「美し国おこし・三重」の認知度

「美し国おこし・三重」の取り組みを、「よく知っている」が11.3%、「少し知っている」が41.0%で、認知度（「よく知っている」、「少し知っている」）は52.3%と半数を超える方に知られています。

地域別では、北勢地域で56.4%と最も高く、次いで東紀州地域（55.6%）、中勢地域（49.8%）、伊賀地域（49.1%）の順となっています。

また、年代別では、70才以上で70.0%と最も高く、次いで60代（63.3%）、50代（55.7%）、40代（47.0%）、30代（43.8%）と、年齢が高くなるほど「美し国おこし・三重」の認知度が高くなっています。

Q11 「美し国おこし・三重」の認知度			
北勢	56.4%	20代	45.3%
中勢	49.8%	30代	43.8%
伊勢志摩	44.0%	40代	47.0%
伊賀	49.1%	50代	55.7%
東紀州	55.6%	60代	63.3%
		70以上	70.0%
全体	52.3%		

Q12 取り組みを知るきっかけ

取り組みを知るきっかけとしては、「県、市町広報紙」が70.9%と一番多く、「新聞、テレビ、ラジオ」が46.1%、「『美し国おこし・三重』が実施しているイベント」が30.6%、「ラッピング電車、バス広告などの交通広告、ポスター」が27.8%、「『美し国おこし・三重』ホームページ、フェイスブック」が11.0%と続いています。

Q13 取り組みへの参加

「美し国おこし・三重」の取り組みへの参加については、95.3%（727人）の方が「参加したことはない」との回答となっています。

参加したことがある方の内訳では、「パートナーグループに登録している」が8人、「座談会（説明会・意見交換会、ご縁づくり交流会、拡大座談会を含む。）に参加したことがある」が10人、「縁博（えんぱく）みえ2014のイベントなどパートナーグループのイベントに参加したことがある」が15人、「『三重県民大縁会（だいえんかい）』や『成果発表・交流会』に参加したことがある」が8人、「研修（マネジメント、ファシリテーション、広報・情報発信）に参加したことがある」が3人、「サポーターズクラブ会員に登録している」が1人となっています。